

東日本大震災被災地支援

3月11日に発生した東日本大震災。早くも3カ月が経過しましたが、依然被災地の状況は「復興」には程遠い状況です。町は、5月下旬に被災地への人的支援を行いましたので、その状況などについてお知らせいたします。

町では、今後も被災地支援のためにできる限りの支援を行っていきたくと考えております。また、町の災害対策などについても皆さんの安心安全な生活のため、十分に検討していきます。

山形県被災地広域支援隊

5月17日から21日まで山形県被災地広域支援隊として職員1人が岩手県山田町で支援活動を行いました。

29カ所ある避難所（避難者約3500人）への食料・日用品の仕分け作業が主な業務で、山田町役場のかたやボランティアのかたがたと協力しながらの業務でした。

役場のかたの約半数は津波や火災などで家を失い、避難所生活をしながら業務をされているということでしたが、「これからは良くなるしかないから」と前向きに作業をされている姿が印象的でした。

また、マスコミなどの情報で知り得る以上の数多くの自治体やNPOなどのボランティア団体が現地で活動されており、「復興」に向けた日本全体の力を感しました。

山形県医療救護班

5月20日から22日まで、山形県医療救護班として町立病院のスタッフなど5人が気仙沼市の避難所で、診察や薬の処方などを行いました。

全国各地からの医療救護班



津波や火災でほとんどの建物が被害にあった中心市街地（左側が海）



津波で倒された防潮堤



ボランティアによる炊き出し



宮城県気仙沼市

津波で流され炎上した船



グラウンドに完成した仮設住宅



診察の様子（藤島先生）

気仙沼市災害義援金及び支援物資について

義援金（4月30日まで受付）及び支援物資（4月22日まで受付）にご協力いただき誠にありがとうございました。多くの温かい善意をいただきましたので、その結果をご報告させていただきます。

○義援金 1183万7774円

（個人488人、事業所等83団体）

支援先内訳 気仙沼市へ1148万7774円

町内避難で小中学生のいる家庭に35万円

○支援物資 毛布や白米をはじめ多くの支援物資をいただき、気仙沼市へ届けたほか、町内の避難所でも利用しました。